

決算説明会

2006年3月期

2006年5月9日

ミネベア株式会社

1. 業績の説明

2. 方針と戦略

業績の説明

取締役 常務執行役員 加藤木 洋治

連結業績

(百万円)	2005年3月期	2006年3月期	前年比 伸び率	2005年11月発表計画	
	通期	通期		通期	達成率
売上高	294,422	318,446	+8.2%	310,000	102.7%
営業利益	14,083	19,269	+36.8%	18,000	107.1%
経常利益	10,206	14,595	+43.0%	14,000	104.3%
税引前利益	7,778	9,620	+23.7%	12,500	77.0%
当期純利益	5,581	4,257	-23.7%	7,500	56.8%

営業利益増益、前年比37%増。
 ヘアリングなどが好調。課題事業が改善。
 事業構造改革費用を特別損失に計上。

為替の影響 05/3期 06/3期
 US\$ 107.46 円 113.09 円
 タバックス 2.67 円 2.79 円
 売上高 +118億円、営業利益 +7億円

セグメント別売上高・営業利益

(百万円)	2005/3期	2006/3期	前年比 伸び率	2005年11月発表計画	
	通期	通期		通期	達成率
(売上高)					
機械加工品	116,105	129,595	+11.6%	125,200	103.5%
ベアリング関連製品	98,218	109,547	+11.5%	106,100	103.2%
その他機械加工品	17,887	20,047	+12.1%	19,100	105.0%
電子機器	178,317	188,851	+5.9%	184,800	102.2%
回転機器	106,750	110,136	+3.2%	107,700	102.3%
その他電子機器	71,566	78,715	+10.0%	77,100	102.1%
合計	294,422	318,446	+8.2%	310,000	102.7%
(営業利益)					
機械加工品	21,572	24,556	+13.8%	23,250	105.6%
電子機器	7,489	5,287	-	5,250	-
合計	14,083	19,269	+36.8%	18,000	107.1%

四半期セグメント別売上高・営業利益

(百万円)	2005/3期				2006/3期				4Q 伸び率	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	前年同期比	前四半期比
(売上高)										
機械加工品	28,256	29,094	28,927	29,828	30,573	31,631	32,938	34,452	+15.5%	+4.6%
ベアリング関連製品	24,247	24,906	24,491	24,574	25,982	26,402	27,837	29,326	+19.3%	+5.3%
その他機械加工品	4,009	4,188	4,436	5,254	4,591	5,229	5,101	5,126	-2.4%	+0.5%
電子機器	43,067	46,333	46,254	42,663	45,116	48,419	48,009	47,307	+10.9%	-1.5%
回転機器	26,852	27,209	27,350	25,339	26,443	27,880	27,724	28,089	+10.9%	+1.3%
その他電子機器	16,216	19,124	18,903	17,323	18,673	20,539	20,285	19,218	+10.9%	-5.3%
合計	71,324	75,427	75,180	72,491	75,690	80,049	80,948	81,759	+12.8%	+1.0%
(営業利益)										
機械加工品	5,082	5,396	5,952	5,142	5,067	6,045	6,972	6,472	+25.9%	-7.2%
電子機器	2,279	2,731	1,786	693	2,056	1,831	930	470	-	-
合計	2,802	2,666	4,165	4,450	3,010	4,214	6,043	6,002	+34.9%	-0.7%

機械加工品：4Qは3Q比、ベアリングやロッドエンドの売上が増加したが、休日、HDD用ビョットアッシーの減産、タイパツ高の影響により減益。

電子機器：HDDスピンドルモーターが改善、黒字化。

為替の影響 05/3期 4Q 06/3期 4Q

US\$ 104.19 円 117.36 円

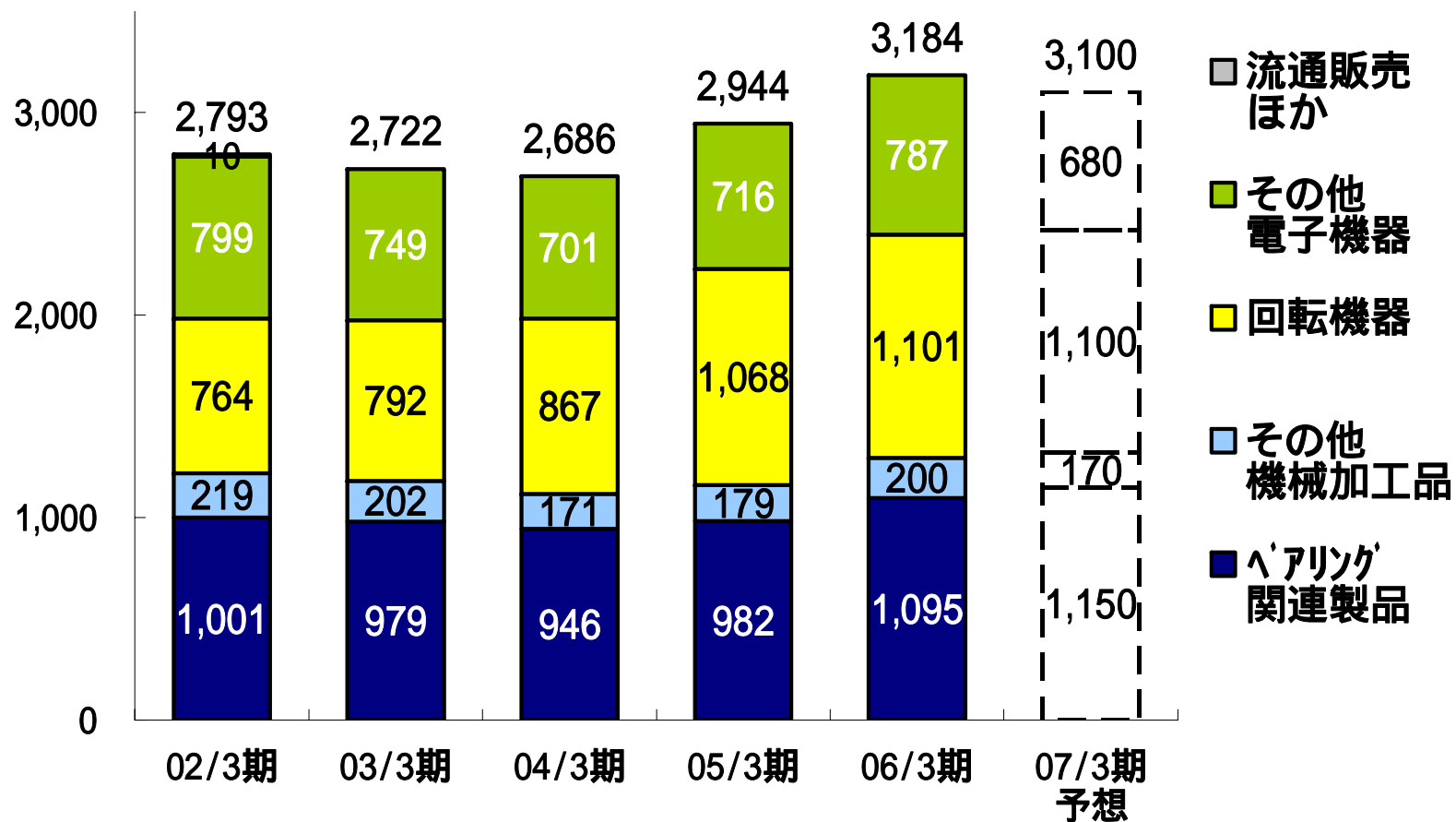
タイパツ 2.70 円 2.95 円

前年同期との比較 売上高 +64億円、営業利益 +3億円

売上高

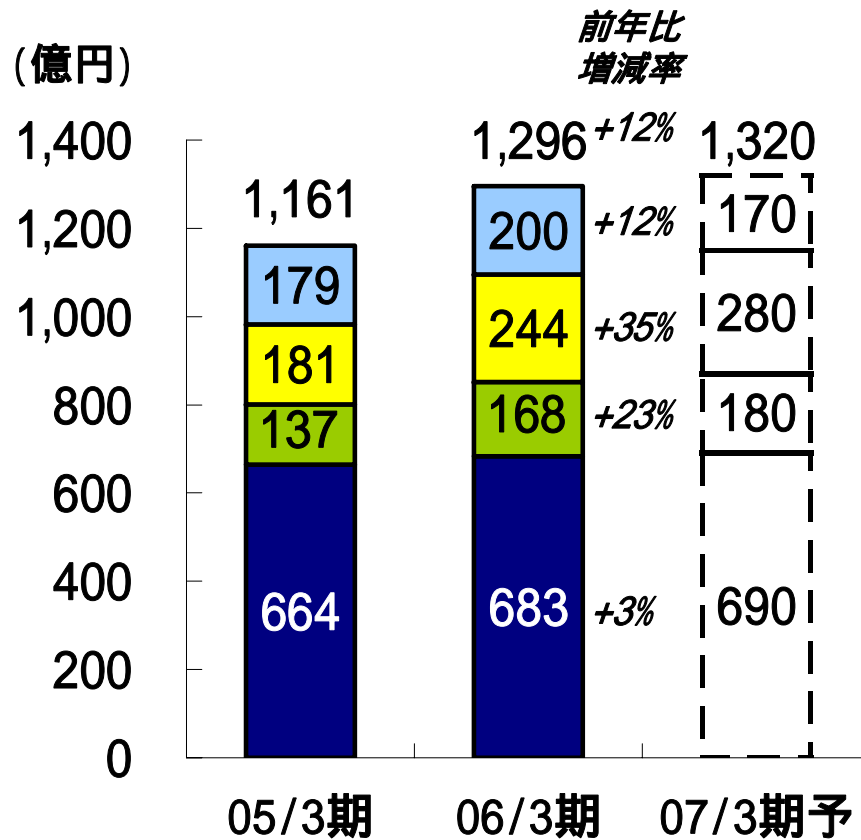
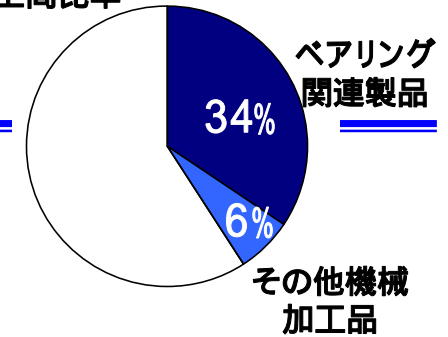
ベアリング、ロッドエンド、ピボットが伸び、ベアリング関連製品は順調に増加。
 回転機器は、数量から利益追求への方針転換の影響。
 その他電子機器では光デバイス関連事業が成長の柱。

(億円)



機械加工品セグメント売上高

売上高比率



- その他機械加工品
- ピボットアッセンブリー
- ロッドエンド・スフェリカルベアリング
- ボールベアリング

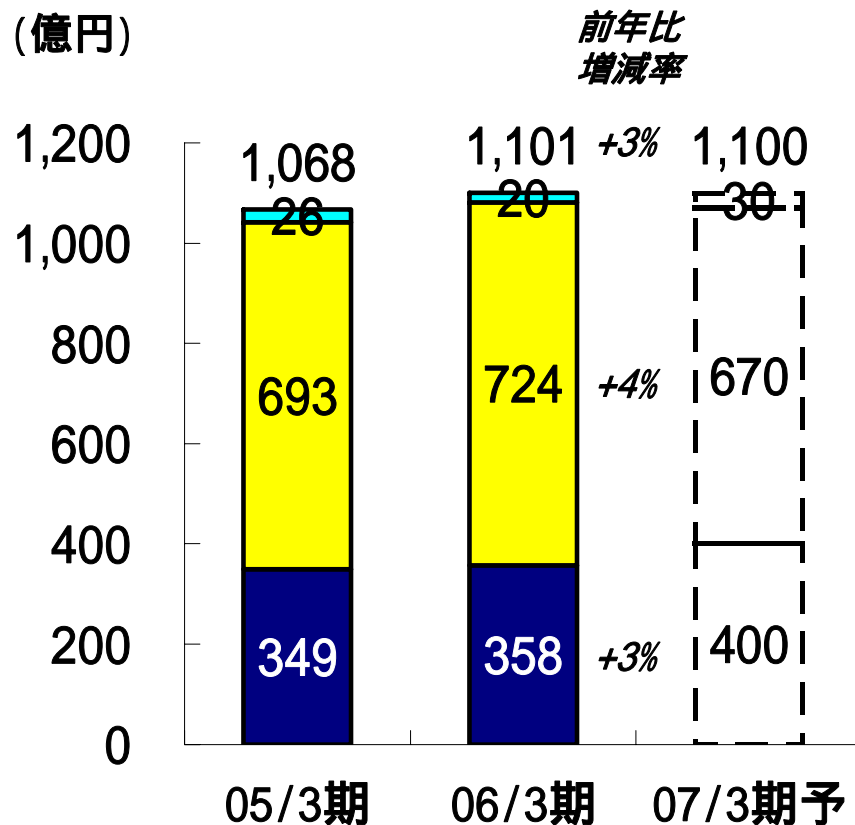
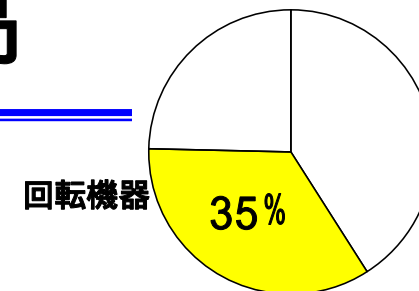
HDDの2桁の伸びが続くと予測し、ピボットアッシーは07.3期も大幅増の見込み

ロッドエンドは航空機向けの好調が続く見通し

ボールベアリングは07.3期もファンモーターと自動車向けへ販売拡大を見込む

電子機器セグメント回転機器売上高

売上高比率



HDDスピンドルモーターでは、前期4Qから数量の引き上げを実施

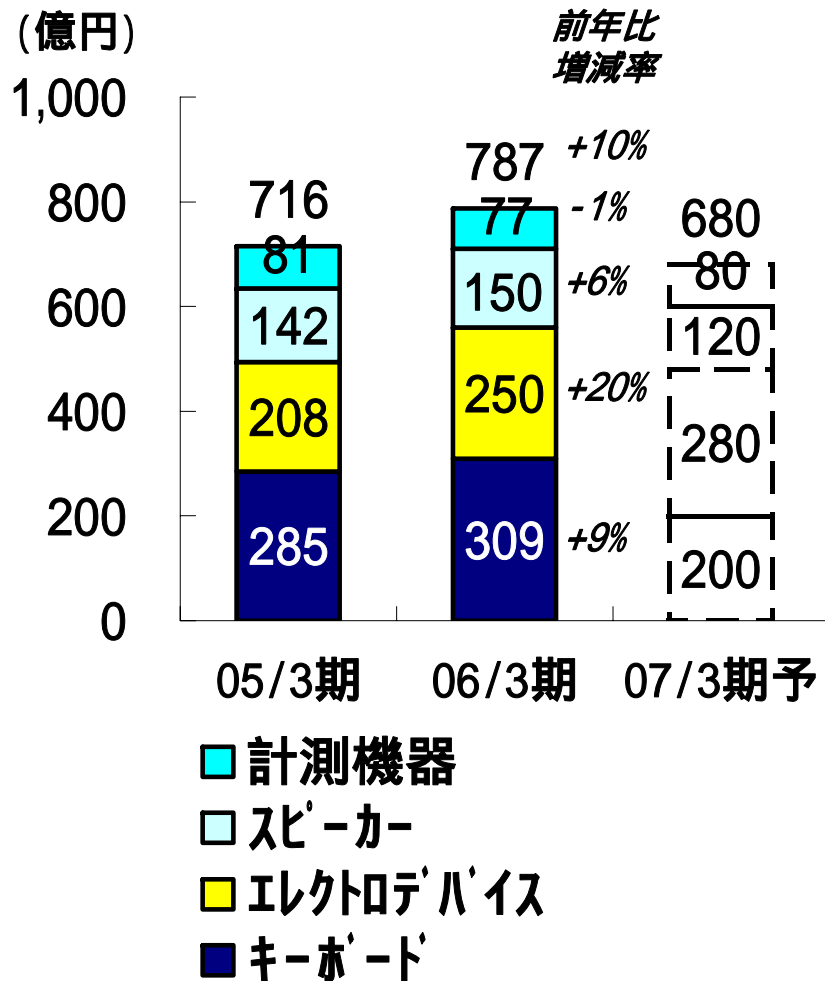
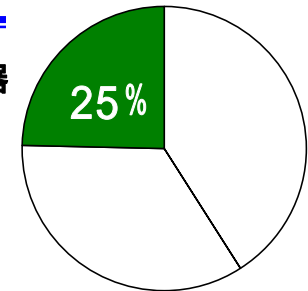
情報モーターは、受注内容の見直しと利益重視の方針により、売上高は横ばいから微減で推移

- その他
- 情報モーター
- HDDスピンドルモーター

電子機器セグメントその他電子機器売上高

売上高
比率

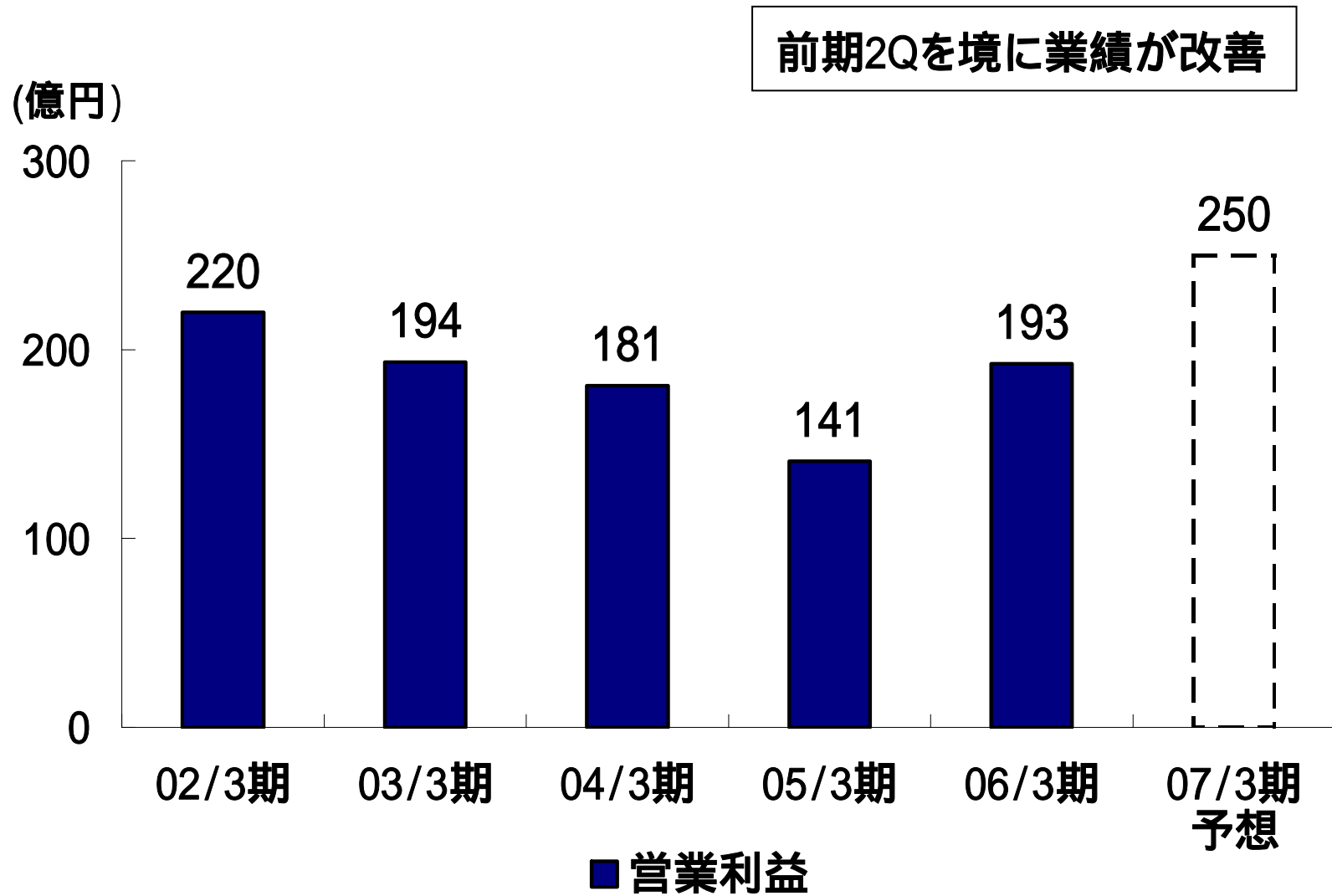
その他
電子機器



キーボードは今期下期から高付加価値製品を中心とする体制へ移行

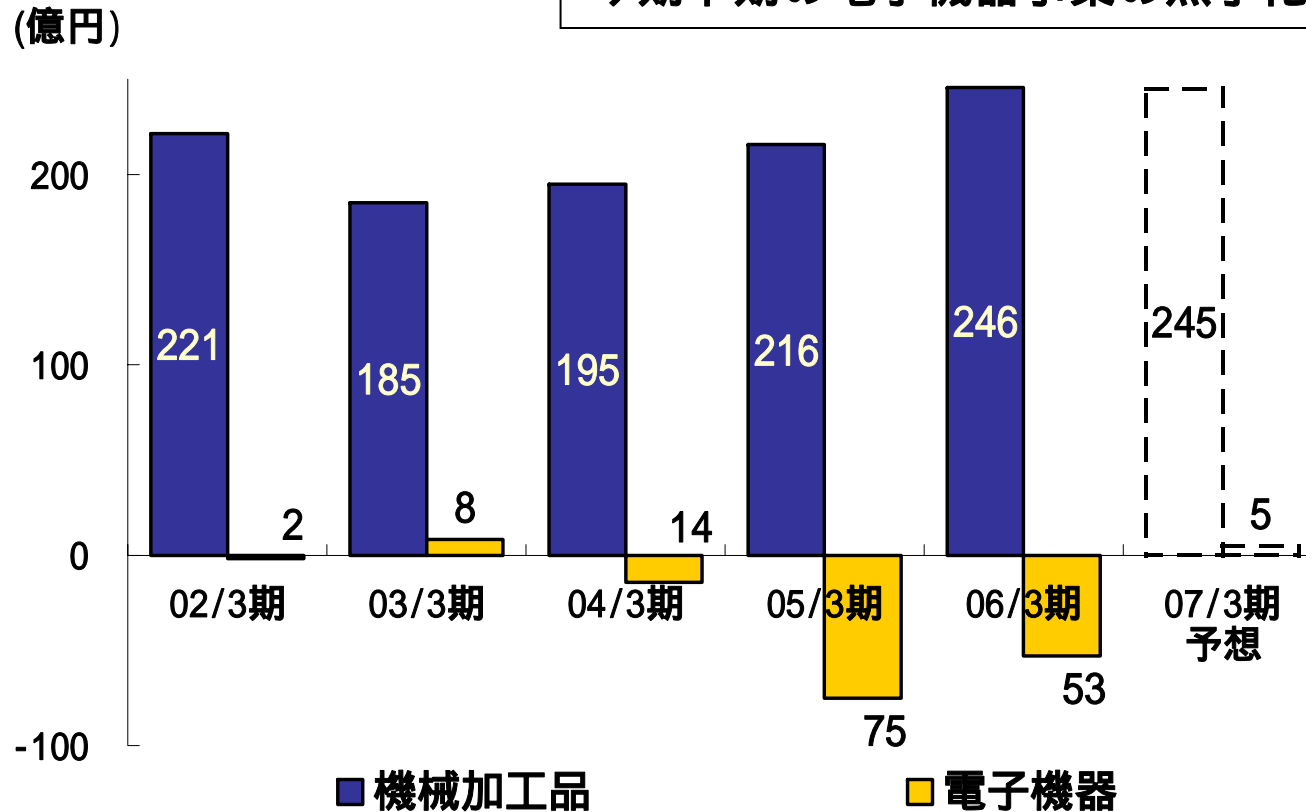
エレクトロデバイスでは新製品効果によりライティングデバイスとインバーターの販売増を見込む

営業利益



セグメント別営業利益

今期下期の電子機器事業の黒字化を目指す

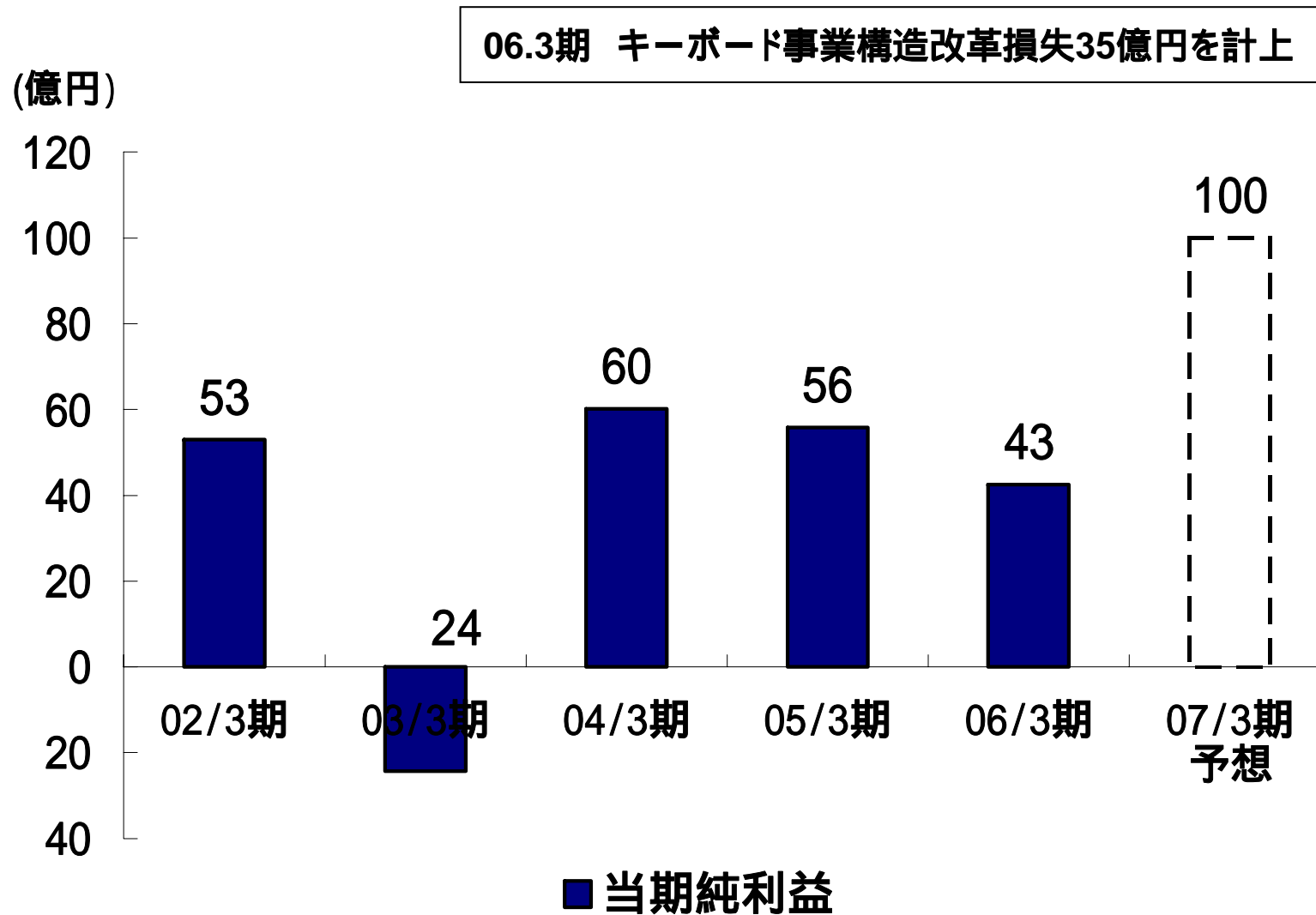


営業利益率

	02/3期	03/3期	04/3期	05/3期	06/3期	07/3期予
機械加工品	18.1%	15.7%	17.5%	18.6%	18.9%	18.6%
電子機器	-0.1%	0.5%	-0.9%	-4.2%	-2.8%	0.3%
合計	7.9%	7.1%	6.7%	4.8%	6.1%	8.1%

注: グラフと表は流通販売ほかの営業利益を省略 02/3期0億円、03/3期以降は計上なし。
各セグメントの営業利益率は外部顧客に対する売上を使用。

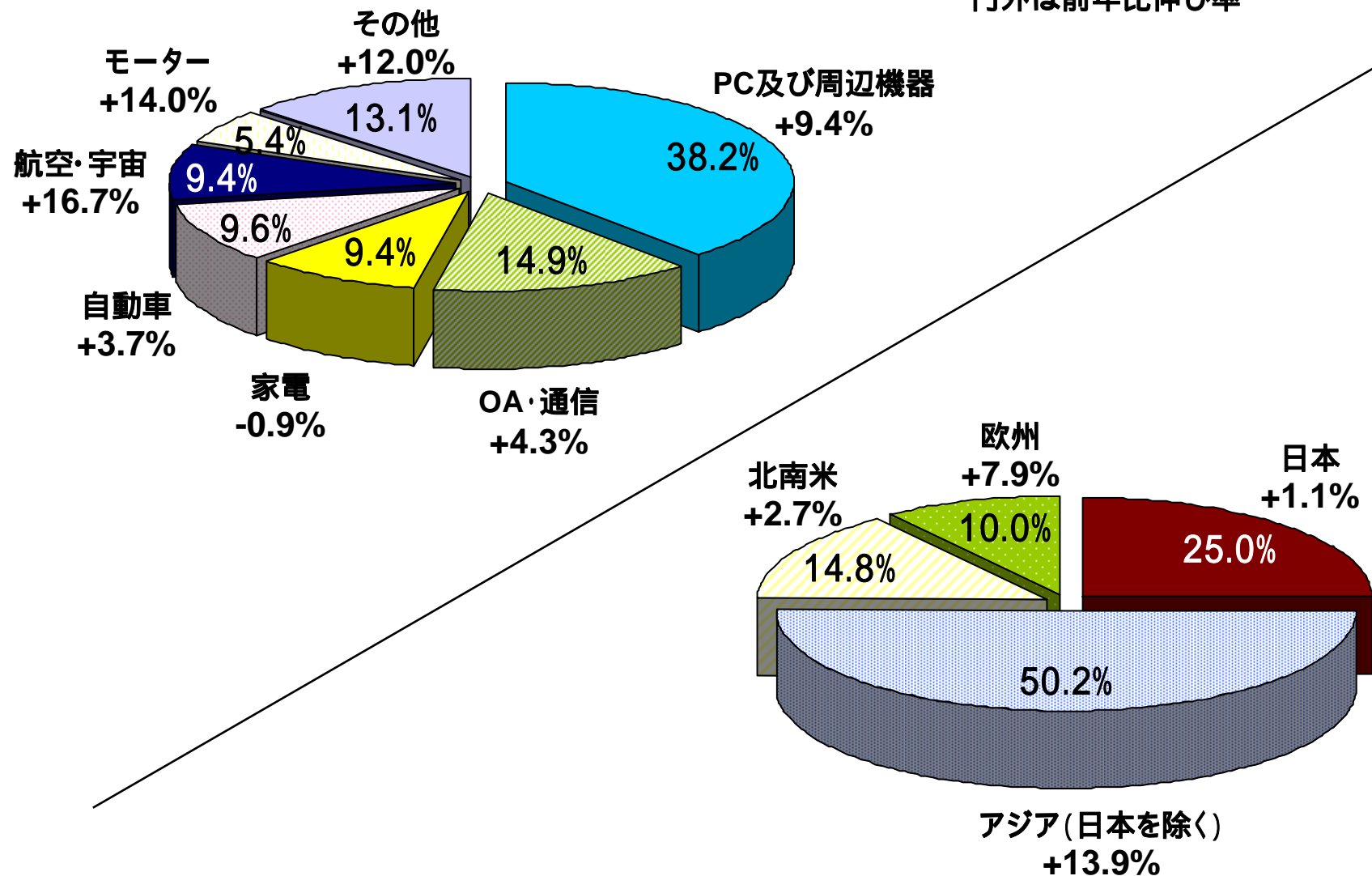
当期純利益



用途別、地域別売上高

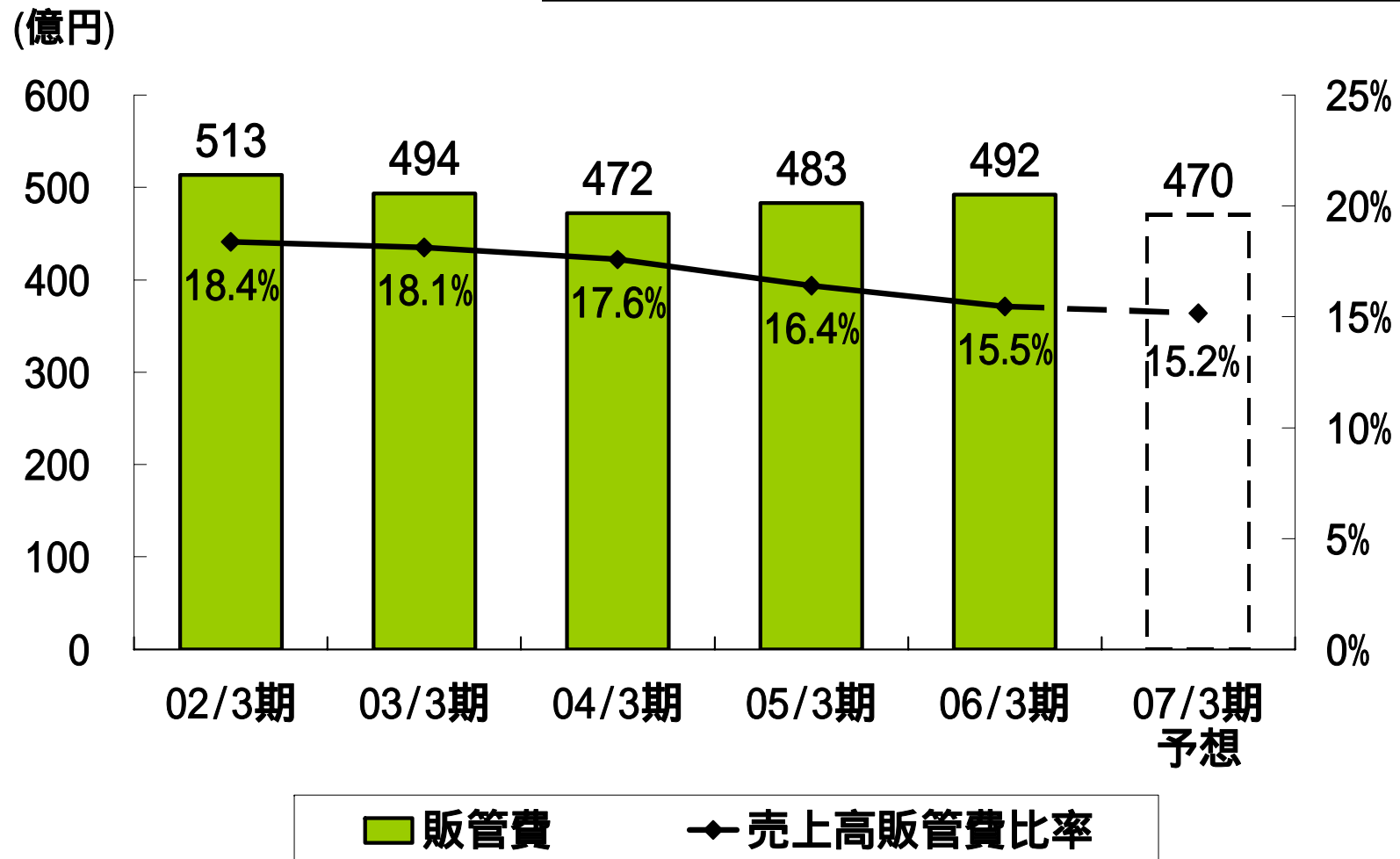
2006.3期通期

円内の数字は売上高比率
円外は前年比伸び率

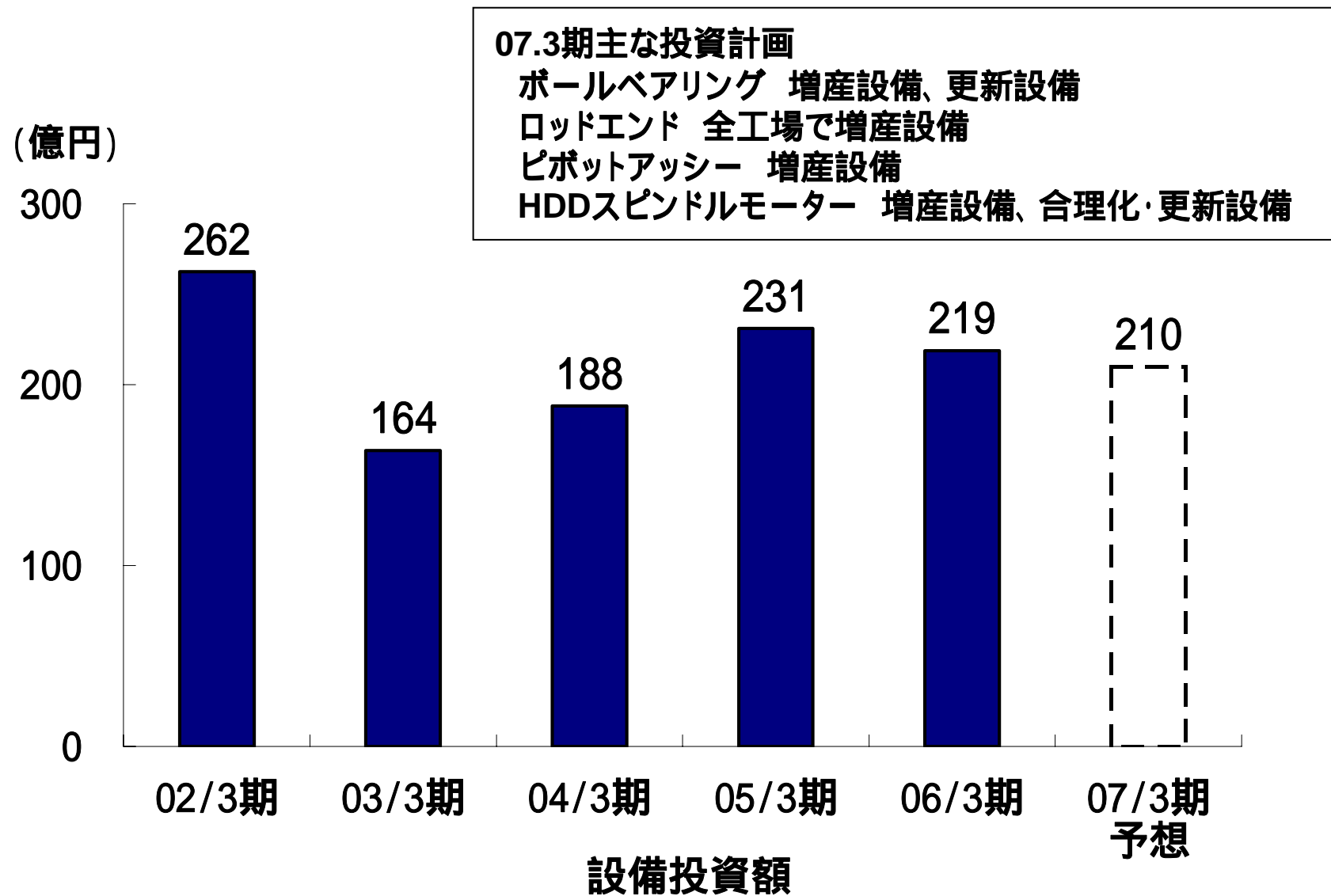


販管費

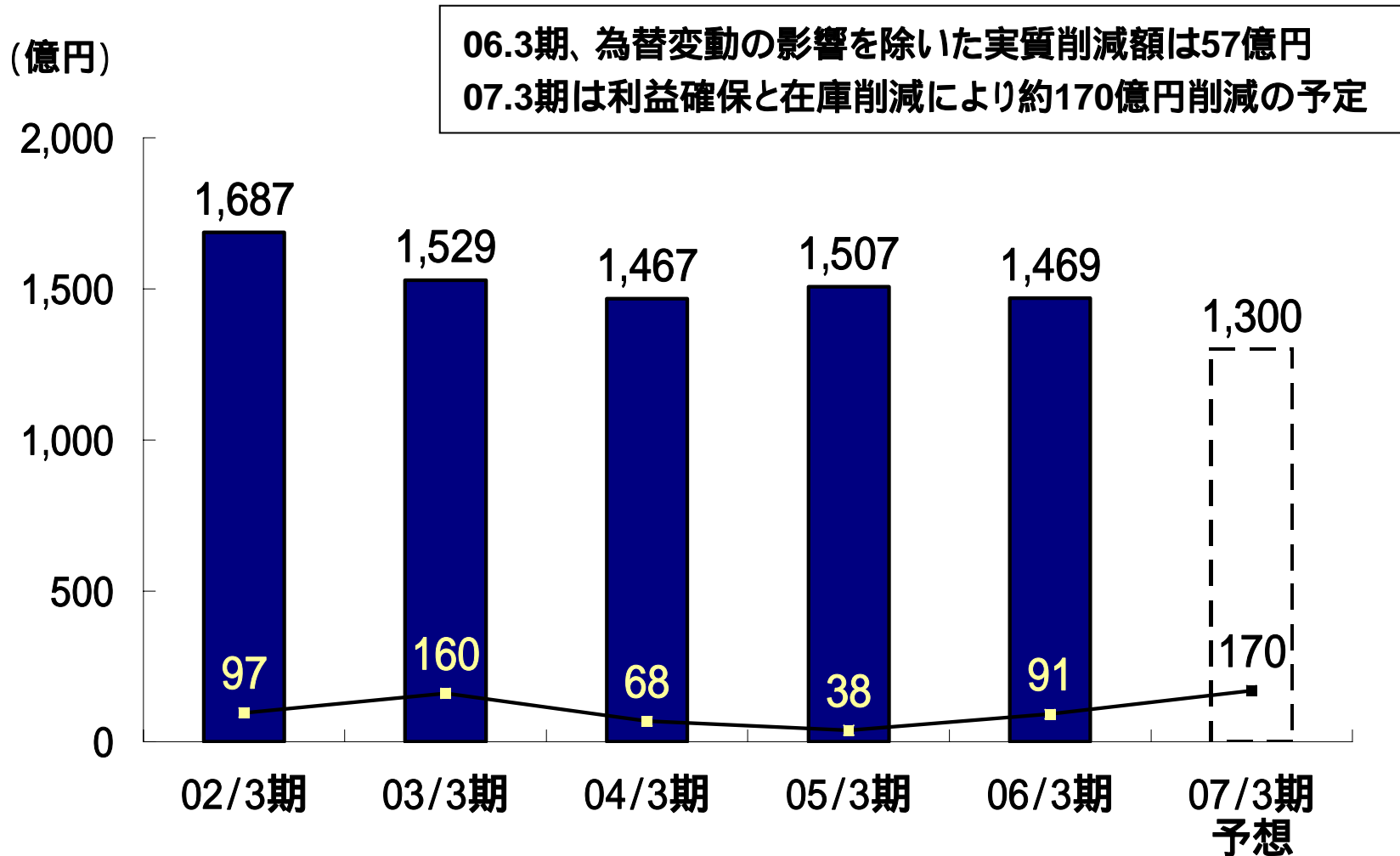
今期は販管費売上高比率の15%台定着が目標



設備投資額



有利子負債



■ ネット有利子負債 — フリーキャッシュフロー

ネット有利子負債 : 有利子負債合計 - 現預金

フリーキャッシュフロー : 営業活動CF - 投資活動CF

連結業績予想

(百万円)	2006年3月期	2007年3月期予想			前年比
	通期	上期	下期	通期	伸び率
売上高	318,446	152,000	158,000	310,000	-2.7%
営業利益	19,269	11,500	13,500	25,000	+29.7%
経常利益	14,595	8,400	10,600	19,000	+30.2%
税引前利益	9,620	8,000	10,000	18,000	+87.1%
当期純利益	4,257	5,300	4,700	10,000	+134.9%

為替レート 06/3期実績 07/3期想定
 US\$ 113.09 円 115.00 円
 タバ-ツ 2.79 円 2.80 円

セグメント別売上高・営業利益予想

(百万円)	2006/3期	2007/3期 予想			前年比 伸び率
	通期	上期	下期	通期	
(売上高)					
機械加工品	129,595	64,000	68,000	132,000	+1.9%
ベアリング関連製品	109,547	55,500	59,500	115,000	+5.0%
その他機械加工品	20,047	8,500	8,500	17,000	-15.2%
電子機器	188,851	88,000	90,000	178,000	-5.7%
回転機器	110,136	53,500	56,500	110,000	-0.1%
その他電子機器	78,715	34,500	33,500	68,000	-13.6%
合計	318,446	152,000	158,000	310,000	-2.7%
(営業利益)					
機械加工品	24,556	12,150	12,350	24,500	-0.2%
電子機器	5,287	650	1,150	500	-
合計	19,269	11,500	13,500	25,000	+29.7%

方針と戦略

代表取締役 社長執行役員 山岸 孝行

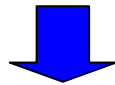
2006年3月期決算ハイライト

- ◆ **営業利益増益**
- ◆ **電子機器事業が改善**
 - HDDスピンドルモーターの黒字化
- ◆ **機械加工品事業が拡大**
 - ピボットアッシーの売上拡大、製造原価低減
 - ロッドエンドの航空機向け売上拡大
- ◆ **販管費比率を改善**
 - 売上高販管費比率の15%台への低下
- ◆ **構造改革のための費用を計上**
 - キーボードの高付加価値モデルを中心とする体制への転換

2006年3月期の取り組みと成果

2005年6月以降、

- 短期間での収益向上
- 将来へ向けての事業基盤強化 を目的として、



- ◆ **組織改革～事業部制の導入、本部の設置**
組織間の壁の排除、グループ内の資源の有効的活用
- ◆ **量から質、売上から利益追求への方針転換**
- ◆ **技術開発の強化**
技術本部による統括、基礎技術部門の設置
- ◆ **課題事業への対応**

課題事業の収益の改善

◆ HDDスピンドルモーター

- さらなる原価低減により利益体質の定着を目指す
 - 組立と部品、製造と営業の組織連携強化
 - 外注部品の内製化、部品歩留まり向上、組立工程での作業改善
- 2.5インチFDBモーターの生産・販売の引き上げに注力
- 新製品開発を強力に推進

◆ 情報モーター

- 事業構造の見直しを実施
- 生産体制整備によりコストの引き下げを図る
 - 製造拠点の統廃合、外注活用の見直し、製造の効率改善
- 受注内容の精査、新製品開発の効率化により製品構成を改善

◆ キーボード

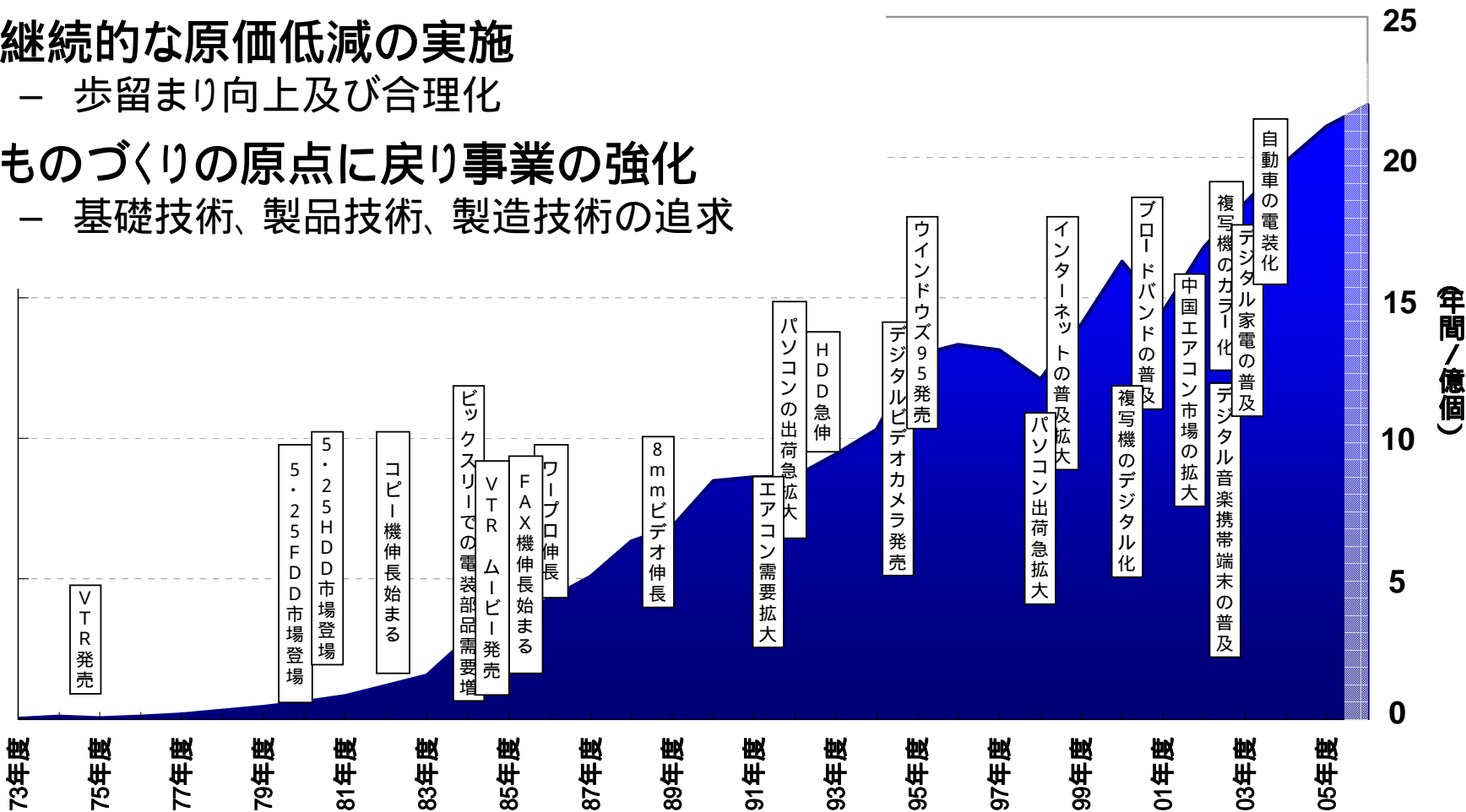
- 高付加価値モデルに事業資源を集中する最適な体制構築を目指す
- 製造、営業及び技術の組織再編、設備の除却などにより固定費を削減する
- 今期中の単月黒字化を目指す

成長事業の拡大

◆ ボールベアリング

- 小型製品の増産
 - － ピボットアッシーやデジタル製品向け
- 継続的な原価低減の実施
 - － 歩留まり向上及び合理化
- ものづくりの原点に戻り事業の強化
 - － 基礎技術、製品技術、製造技術の追求

当社ミニチュア・小径ボールベアリング出荷推移



成長事業の拡大

◆ ロッドエンド、航空機用ベアリング

- 2桁増が続く需要に対応し、軽井沢、米国、英国で生産能力を拡大
- 低コスト体制構築と生産能力増強にタイの前工程生産を活用
- 新機種向け開発を強化

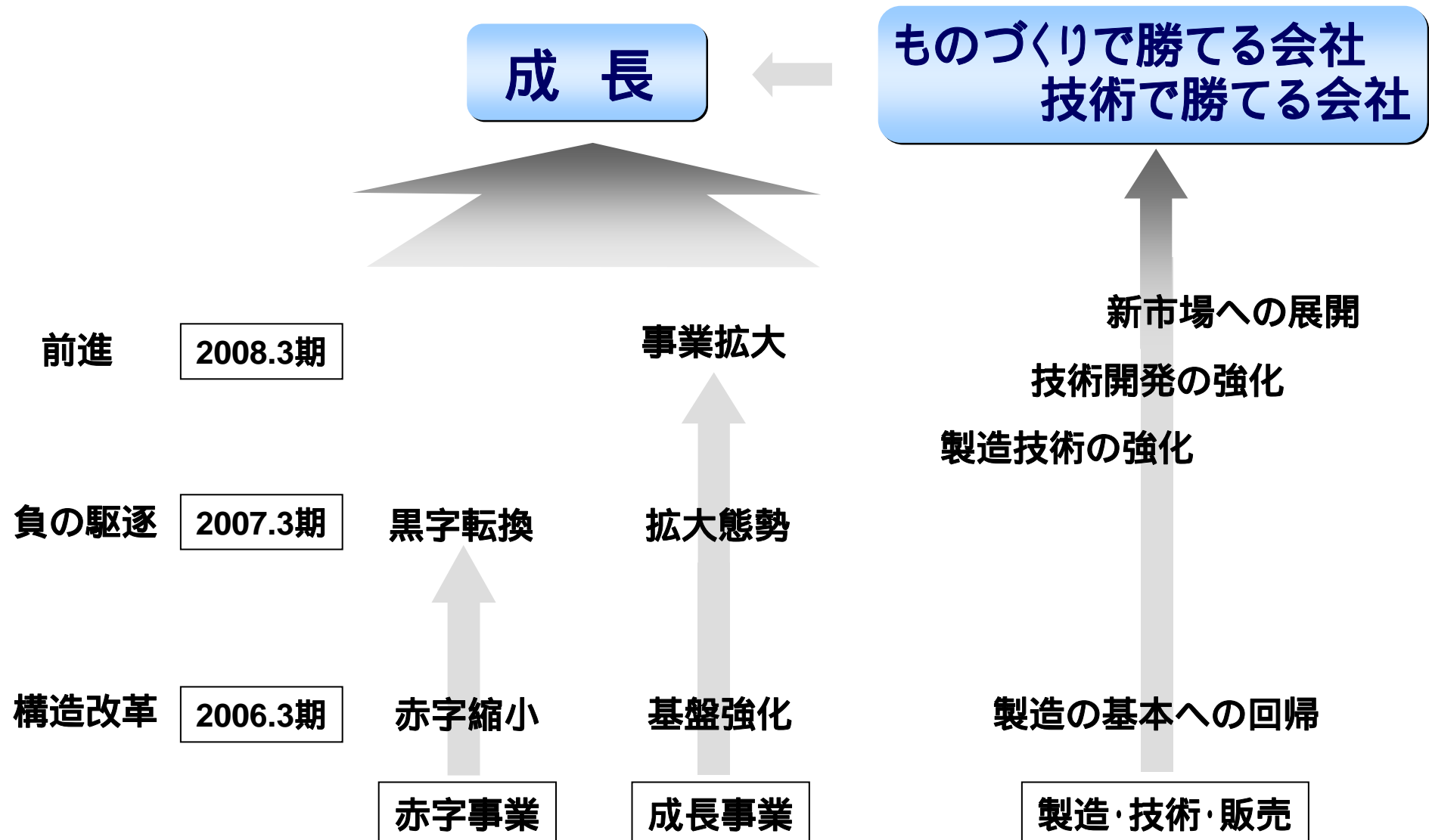
◆ ピボットアッシー

- シェア70%を維持
- 生産能力を月3,000万台へ引き上げ
- 部品内製化、歩留まり向上、設計標準化により原価低減を継続

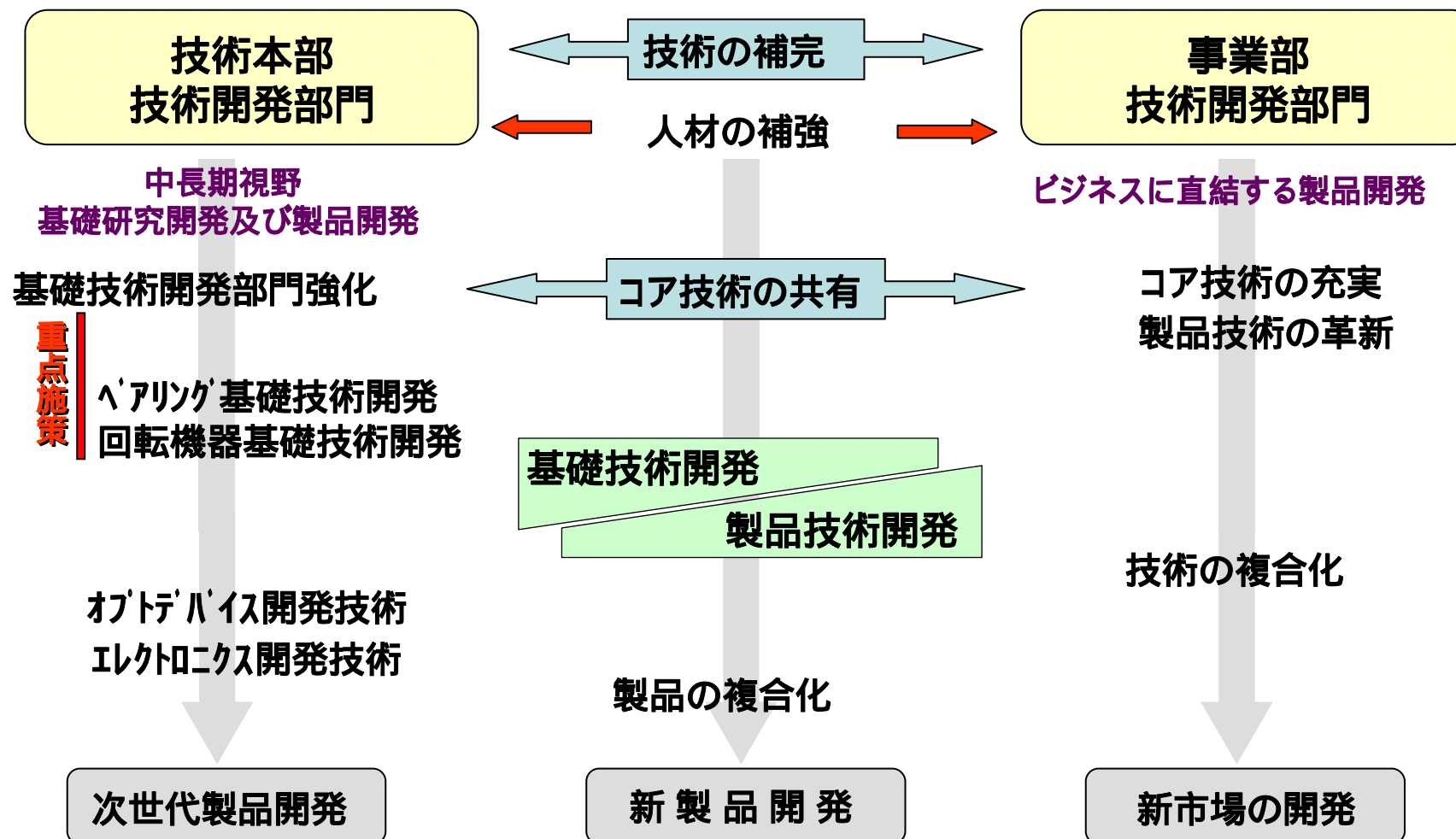
◆ 光デバイス関連事業

- 高輝度・超薄型LEDバックライトの拡販をさらに推進
 - ワンセグ対応携帯電話端末での採用件数はトップ
- 車載向け等中型LEDバックライトの受注活動を推進
- 低価格対応インバーター新製品の製品化を図る

将来へ向けて



技術開発の強化



ミネベア株式会社

決算説明会

<http://www.minebea.co.jp/>

上記説明会で述べられた内容のうち歴史的事実でないものは、一定の前提の下に作成した将来の見通しであり、また、それらは現在入手可能な情報から得られた当社経営者の判断にもとづいております。

実際の業績は、さまざまな要素により、これら見通しとは大きく異なる結果となる場合があります。実際の業績に影響を与える重要な要素としては、(1)当社を取り巻く経済情勢、需要動向等の変化、(2)為替レート、金利等の変動、(3)エレクトロニクスビジネス分野で顕著な急速な技術革新と継続的な新製品の導入の中で、タイムリーに設計・開発、製造・販売を続けていく能力、などです。但し、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。

本資料に掲載のあらゆる情報はミネベア株式会社に帰属しております。手段・方法を問わず、いかなる目的においても当社の事前の書面による承認なしに複製・変更・転載・転送等を行わないようお願いいたします。